

自転車を活用した“まちづくり”

BICYCLE CITY

バイシクル・シティ

特報: BICYCLE CITY EXPO 2021



BICYCLE CITY EXPO 2021

自転車まちづくり博
in 東京ドームシティ・プリズムホール

モビリティ 変革の時代。

燃料電池活用システム、
タッチレス駐輪機も登場!

最新駐輪機器から
e-バイク、小型EVまで
アフターコロナ対応の
話題機種競演!

注目の第2次ナショナルサイクルルート
トカプチ 400・太平洋岸自転車道・富山湾岸サイクリングコース

7 2021
月号
VOL.68
RiSING
PUBLISHING COMPANY

シリコンアクリル樹脂系カラー舗装材

リリースペイント

足元のデザインで癒しの空間を演出！

駐輪場の床面をデザインアップする機能に高評価

リリースペイント HG

駐輪場グランプリ特別賞を受賞

型紙工法であっという間に舗装面にデザインを施します。
道の駅、サイクリングロードの休憩所、ショッピングエリアなどの美化、活性化に最適。
画期的なデザイン舗装材で、殺風景な空間をアップグレード！

駐輪場グランプリ
2020
特別賞
受賞

国内 **200,000m²** の実績

注目の機能性特徴

- ① 低コストで高い意匠性
- ② 短時間施工
- ③ 優れた塗膜性能



1 ステンシルペーパーを施工面に敷く

施工手順 ①ステンシルペーパー（型紙）
②スプレー塗装 ③乾燥・養生

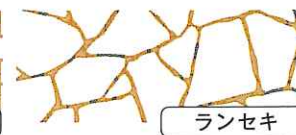
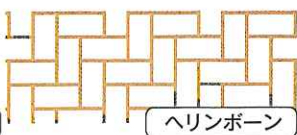


2 型紙の上から2回塗ります



3 型紙を剥がし、乾燥後開放します

ステンシルペーパー 全16パターン シーンに合わせた高い意匠性





特別賞作品

BICYCLE PARKING OF THE YEAR 受賞作品 駐輪場

リリーフペイント

発注者:大成ホールディングス株式会社 施工・管理者:大成ファインケミカル株式会社機能商品事業部



大成ファインケミカルが提唱するリリーフペイントは、豊富なカラーバリエーションとデザイン模様によって駐輪場の美観を一段と向上させる。

リリーフペイントは、足元から住みやすく暮らしやすい景観と環境を整える。①意匠性、②耐久性、③低臭・水性、④バリアフリーと経済性の両立、⑤短工期（コスト削減）などの特長があり、駐輪場整備に貢献できる商品だ。

美観に富んだ駐輪場づくりの重要なポイントである床面の質的向上を推進するリリーフペイントに注目したい。



BICYCLE CITY EXPO 2021 出展者情報

大成ファインケミカル株式会社



話題の「リリーフペイント」を提示・提案

魅力の「リリーフペイント」

大成ファインケミカルは、2019年に開発したカラー舗装剤「リリーフペイント」を強力プッシュ。

この「リリーフペイント」は舗装面を色彩や模様で演出するデザイン舗装剤だ。アスファルト・コンクリート舗装を美しくカラーリングし、防滑性をプラスすることで安全性を向上させている。凹凸の問題もなく、型紙工法とスプレー塗装により工期短縮や低コストを実現。また、「リリーフペイント」は環境に優しい水性塗料で、耐久性や防汚性を一段と向上させている。

「リリーフペイント」は駐車場、駐輪場、広場、歩道、道の駅などの足元、舗装面を美しく彩ってくれる製品だ。2020年駐輪場グランプリの特別賞に輝いた。



リリーフペイントを採用した駐輪場の床面、鮮やかなカラーリングが施されている

駐輪場の床面をデザインアップする 大成ファインケミカルのリリーフペイント

新型コロナウイルスの影響もあり、我々のライフスタイルは大きく様変わりした。そんな中でコロナ感染リスクの少ない乗り物である自転車は、ますます存在感を強めている。自転車は社会生活にとって必要不可欠な乗り物であるとの認識が急速に広がっているのだ。

であるならば、今こそ自転車の利用環境を引き上げる絶好のチャンスと言うべきだろう。機能的で景観美に富む駐輪場——。そんな施設が増えていくことで自転車ワールドはより快適で盛り豊かなものになるはずだ。

駐輪場の床面をデザインアップするリリーフペイントを開発した大成ファインケミカルの首脳陣、徳倉俊一会長、稲生豊人社長、景観ユニットリーダーの泉田一雄氏にインタビューした。

INTERVIEW

大成ファインケミカル
取締役会長

徳倉俊一

代表取締役社長

稲生豊人

機能商品事業部営業グループ
景観ユニットリーダー

泉田一雄

「リリーフペイントはサイクル&バスライドの 停留所にも活用できます」

—— リリーフペイントは2020 駐輪場グランプリで特別賞を受賞した注目商品ですが、何年にリリースされたものなんですか。

徳倉「リリーフペイントの原型になった製品は8年ほど前に

できていましたが、その段階では一部の取引先に向けたOEM商品でした。その後、改良を重ねまして2019年に現在の製品を完成させました」

—— アスファルト、コンクリートの舗装面を美しくカラーリン

グするリリーフペイントは大変魅力的な製品ですね。

徳倉「本格的な営業展開はこれからという状況なのですが、これまで製品を供給させていただいた取引先の皆様からは高い評価を頂戴しています」



(上) リリーフペイントを導入した鹿児島県の警察署
(左) リリーフペイントによって落ち着いた雰囲気にデザインアップされた東京都文京区の保育園

—— リリーフペイントは駐車場、駐輪場の景観を引き立てる絶好の製品と言えそうですね。床面を美しく舗装することで駐輪場のイメージはまるで違ったものになるはずですよ。雰囲気ガラリと変わる。明るくなると思えますね。

徳倉「そう言っただけで大変うれしいです。私は駐輪場もさることながら、リリーフペイントはサイクル&バスライドの停留所の床面をデザインするのに貢献できるのではないかと考えています。東京・葛飾区が展開しているサイクル&バスライドはバス停に駐輪場を整備してバス利用者の利便性を向上させるという試みです。とても素晴らしいアイデアだと思いますが、ここはサイクル&バスライドの停留所であるとい

ったことをもっと明確に表示すべきだと思いませんか。分かりやすい表示ということです。そうすることによって利用者も増えるはずですよ。ひとつの方法として床面をリリーフペイントでカラーリングすれば大分印象が違ってきます」

33色・16パターンの型紙を備えた製品展開です

—— リリーフペイントを活用した停留所をつくっていけばサイクル&バスライドの利便性も高まるでしょうね。リリーフペイントの製品的特長を改めて確認させてください。

泉田「リリーフペイントはアスファルト・コンクリートの床面を美しくカラーリング、デザインする製品で、耐久性に優れてい

ます。速乾性ということも特長です。そして強調したいのはバリアフリーの製品であるということです。滑りにくい素材を使っていますし、段差がありません。自転車の利用者にはぴったりの製品です」

—— カラーリングの美しさが魅力的ですが、デザインはどれくらいの種類があるのですか。

泉田「カラーバリエーションは33色で、16パターンのステンシルペーパー（型紙）を持っています。フィッシュスケールとかフラッグストーン、ヘリンボーンとかいろいろあります。ヨーロッパ調のデザインが主力なのですが、今後は和柄もつくりたいです。日本風のデザインが適した現場も多いですからね。地域

ステンシル(型紙)を使用して効率的な施工を実施



ステンシルを設置



▶ スプレー塗装



▶ ステンシルを撤去して完成



泉田一雄 リーダー



稲生豊人 社長



徳倉俊一 会長

性を考慮し、現場の雰囲気に合わせてデザインを用意します。ちなみに床面塗装でパターンをつくって製品展開しているのは当社だけです」

—— 京都あたりの駐輪場は和柄が向いているでしょうね。

稲生「海外からの観光客が日本に求めるのはやはり和のムードなんですね。そうすると駐輪場の床面も日本調のテイストにした方が、海外からの観光客には喜ばれると思います。カラーリングも同じことです。私達はさまざまなリクエストに応えるだけのキャパシティを広げて、さらに提案力を強化していきます」

徳倉「ともかく駐輪場のイメージを引き上げることにに対して私どもがお役に立てばうれしいですね。駐輪場とひとくちに言ってもさまざまだと思うのですが、暗いイメージの駐輪場も少なくないと思います。そうした駐輪場もリリーフペイントで床面をデザインすれば印象は全然違ってきます」

稲生「床面が明るく、美しくなれば駐輪場の中全体が明るくなります。防犯効果も上がると思います」

—— 世の中のライフスタイル

の変化にしたがって自転車の利用方法もかなり様変わりしています。今後もその傾向はさらに強くなると思います。自転車に対する価値観というものも変わっていくはずです。自転車は実用、日常ユースが主力ですが、自転車に快適性とか楽しさというものを求める人はかなり増えていくのではないのでしょうか。そうすると駐輪場に求められるニーズもかなり変化していくはずです。

稲生「欧米は景観というものに配慮したまちづくりを進めていますね。日本もそういった文化的な意識を持ったまちづくりというものが問われていくと思います。そして安全プラス健康という切り口です。当社のリリーフペイントは、そういった方向性に貢献できる製品です」

徳倉「昨今、電動アシスト自転車など高機能の自転車が増えて

「人に優しいまちづくり」に貢献していきたい

いますが、それだけに自転車の利用環

境を整備していこうという動きは強まっていくのではないのでしょうか。自転車文化といったものも発展していくと思います」

稲生「これからはますます少子化の時代に入っていくわけですから、いろんな分野で量から質への転換が進むでしょう。そういった時代の中で私どもは人に優しいまちづくり、道づくりを進めていきます。リリーフペイントもその方針に沿った製品で、安全安心のまちづくり、景観の向上を推進する駐輪場整備に貢献できる製品だと確信しています」

徳倉「自転車の世界にとっては安心、健康、観光、環境といったことがキーワードになっていると思いますが、当社もそうした路線の中でリリーフペイントを通じてまちづくりのお手伝いさせていただきますと考えております」